

平成 30 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社コーセーアールイー
 代 表 者 代表取締役社長 諸藤 敏一
 (コード番号：3246 東証第一部・福証)
 問合せ先 取締役管理部長 國分 正剛
 (TEL：092-722-6677)

平成 30 年 1 月期通期 (個別) 業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月 13 日に公表いたしました平成 30 年 1 月期通期 (個別) 業績予想値と実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異 (個別)

平成 30 年 1 月期通期 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (注)
前回発表予想 (A)	10,565	1,219	792	97 円 10 銭
実績値 (B)	11,215	1,560	1,084	124 円 70 銭
増 減 額 (B-A)	650	341	292	—
増 減 率 (%)	6.2	28.0	36.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月期)	8,322	859	571	70 円 07 銭

(注) 当社は、平成 29 年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前期実績の 1 株当たり当期純利益は、当該株式分割が前期首に行われたと仮定し算定しております。

また、当社の発行済株式の総数は、平成 29 年 10 月 20 日付の公募増資により 1,740,000 株、平成 29 年 11 月 15 日付の第三者割当増資により 260,000 株増加し、10,368,000 株となっております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、資産運用型マンション販売事業において、完成物件の追加仕入・販売及び中古物件の仕入・販売の伸長により、売上 (引渡し) 戸数が計画を上回りました。

経常利益につきましては、売上高増加のほか、ファミリーマンション販売事業の販売費の使用が計画を下回ったことなどが主な要因であります。

当期純利益につきましては、経常利益の増加のほか、当期に実施した公募増資等の法人税等への影響などが主な要因であります。

(ご参考：平成 30 年 1 月期通期（連結）業績予想値と実績の差異について)

平成 30 年 1 月期通期（連結）業績予想値につきましては、平成 29 年 9 月 8 日「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますが、本日公表の実績値との差異については、以下のとおりであります。

平成 30 年 1 月期通期（連結）（平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益(注)
前回発表予想 (A)	13,027	1,694	1,660	1,015	124 円 44 銭
実績値 (B)	12,889	1,784	1,750	1,154	132 円 79 銭
増 減 額 (B-A)	△138	90	90	139	—
増 減 率 (%)	△1.1	5.3	5.4	13.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月期)	10,245	1,104	1,094	677	83 円 02 銭

(注) 当社は、平成 29 年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前期実績の 1 株当たり当期純利益は、当該株式分割が前期首に行われたと仮定し算定しております。

また、当社の発行済株式の総数は、平成 29 年 10 月 20 日付の公募増資により 1,740,000 株、平成 29 年 11 月 15 日付の第三者割当増資により 260,000 株増加し、10,368,000 株となっております。

以上